げんき

NPO法人八王子市スポーツ協会

令和2年5月29日

第49号会報

令和元年9月1日八王子市民スポーツ大会　総合開会式

スポーツの底力

NPO法人八王子市スポーツ協会
会長　澤本 則男

スポーツ協会への改称から、一年が経過します。令和初の市町村総合体育大会では総合優勝を果たし、13連覇を達成するほか、各加盟団体の大会等での活躍が数多く報告され、順調な滑り出しとなりました。ところが、1月末頃から日本を含め世界中にまん延した新型コロナウィルスの猛威により、さまざまな活動を自粛することとなりました。体育館等公共施設の利用休止や、大会・イベントなど、集団での活動制限を余儀なくされました。さらには、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会も約1年の延期による仕切り直しとなるなど、かつてない緊急事態に襲われました。

この東京大会が決定した２０１３年９月、ＩＯＣ総会の２０２０年夏季オリンピック招致最終プレゼンテーションで、パラリンピアンの陸上選手、佐藤真海さんが行ったスピーチの中に、「スポーツの底力」という言葉がありました。スポーツをすることにより気力がみなぎる、スポーツを応援することによって元気になることなのだろうと解釈していますが、これを実感できたのがラグビーワールドカップ２０１９だったのではないでしょうか。

日本チームの好成績もあり、これまではルールがわかりづらいなどの理由から、ラグビーを敬遠してきた人々も「にわかファン」と化し、会場がほぼ満席となるほどの盛況ぶりでしたが、同時にさまざまな取り組みやエピソードが、反響を大きくしています。

一つめは、大会を身近に感じるための取り組みです。日本開催は初めてのことであり、対戦を目の当たりにできるチャンスであることを伝えるキャッチフレーズとして「4年に一度じゃない、一生に一度だ」を掲げ、特別感を演出するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのＳＮＳで積極的に情報発信を行い、中でもツイッターは開幕前に約10万人だったフォロワーが約23万人に増えたといわれています。更には、台風第19号の影響によりナミビアとの試合が中止になったカナダチームが、被災地の一つである宮城県釜石市で、ボランティア活動に取り組む様子を伝えた投稿は過去最高のリツイートを記録しています。試合の中止に異論を唱えるのでなく、開催現地に貢献したスポーツマンの思いやりの心は大きな話題となりました。

もう一つは、大成功を収めた大会を支えた、1万3千人ものボランティア「ＴＥＡＭ ＮＯ－ＳＩＤＥ」の存在です。ボランティアは、前述のように災害で困った人の力になる活動というイメージがありますが、こちらは自らの意思で参加し、自分自身が楽しむ活動として、スポーツに関わるすべての人々を笑顔にする役割を担う「スポーツボランティア」という領域のチームです。道や交通の案内だけでなく、来場者を笑顔やハイタッチで迎え送り出すなど、すべてが笑顔につながる活動として意思統一が図られ、相手だけでなく自身にとっても心地よいおもてなしが高い評価を受けています。八王子市のスポーツ推進計画においても、東京２０２０大会に向けたアクションとレガシーとして、「する」「見る」に加え「支える」スポーツの取り組みを推進しています。

来る東京２０２０大会では、スポーツを身近に感じ、素晴らしさを改めて認識するとともに、興味・愛好の輪が更に広がるように、そして「スポーツの底力」が発揮され、世界が元気になり、あらゆる困難を乗り越えていくことを期待してやみません。スポーツ協会も同様に、この広報誌の表題どおり、八王子の「げんき」に貢献する活動に邁進していく考えです。

「げんき」発行に寄せて

八王子市長　石森　孝志

NPO法人八王子市スポーツ協会会報「げんき」が発行されますことを心からお慶び申しあげます。

貴協会におかれましては、70年以上の長きにわたり、本市のスポーツ振興と競技力の向上、市民の健康増進のために多大なる御尽力をいただき、心から感謝申しあげます。澤本会長をはじめ、加盟団体の皆様、関係各位の団結力の強さは八王子の誇りであり、敬意を表するものであります。

昨年度は、ゴールデン・スポーツイヤーズの1年目に相応しい年でありました。9月に開幕しましたラグビーワールドカップ2019では、日本代表が大躍進し、初のベスト8に輝くなど日本中が大いに盛り上がりました。チーム一丸となって戦う姿は多くの方の記憶に残っているのではないでしょうか。今夏に予定されていた東京2020オリンピック・パラリンピック大会は、新型コロナウィルスの世界的な感染拡大により残念ながら1年延期となりましたが、引き続き大会成功に向け、市として全力で取り組んでまいります。

本市におきましても、8月に国内初の開催となるスポーツクライミング世界最高峰の大会「IFSCクライミング世界選手権2019八王子」が、エスフォルタアリーナ八王子で開催されました。国内のみならず、世界中から訪れた皆様への様々な「おもてなし」により本市の魅力を広くお伝えすることができました。

また、3月には富士森公園陸上競技場のリニューアルが完了いたしました。走路やインフィールドを改修し、天候に左右されず年間を通じた使用が可能となったほか、ナイター照明の設置により夜間の使用も可能となりました。さらに今年度は、屋内運動施設の整備も進め、地域に根ざした、幅広い世代の憩いの場・健康増進の場となります。陸上競技やサッカーなど小・中学生のジュニア世代を育成する場としても運営してまいりますので、ぜひ御期待ください。

また、様々なイベント等を通じ、地域コミュニティの活性化や八王子の魅力発信などにも取り組み、八王子市スポーツ推進計画の基本理念である「スポーツとともに生きる」の実現に向け進んでまいりたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願い申しあげます。

結びに、NPO法人八王子市スポーツ協会の今後ますますの御活躍、並びに御発展を祈念いたしますとともに、貴協会の皆様には、引き続き本市のスポーツ振興にお力添えをいただき、その推進役としての役割を担っていただきますよう心からお願い申しあげ、挨拶といたします。

令和元年度役員紹介

〔敬称略・順不同〕
3月31日現在

名誉会長	石森　孝志	八王子市長
顧問	黒須　隆一	
会長	澤本　則男	空手道
副会長	立川　冨美代	学識
〃	鈴木　紀幸	ソフトテニス
〃	植松　日出男	ミニテニス
専務理事	髙橋　健司	少林寺拳法
常務理事	澤辺　喜美枝	水泳
会計理事	庄司　義和	山岳
理事	長谷川　仁	アーチェリー
〃	宍戸　玲子	武術太極拳
〃	小笹　勝司	バドミントン
〃	岩田　宗光	弓道
〃	麻嶋　正己	バレーボール
〃	吉野　亨	サッカー
監事	小池　平	武術太極拳
〃	久保田　勇	ソフトテニス
運営委員	牧野　昌男	ソフトテニス
〃	小沢　宏章	柔道
〃	山下　敬一	野球
〃	橋本　淳子	卓球
〃	馬場　敏二	空手道
〃	小原　哲郎	弓道
〃	小島　敏行	スキー
〃	金剛　博江	陸上競技
〃	桑原　秀夫	クレー射撃
〃	赤井　重朗	剣道
〃	嶋崎　幸	自転車競技
〃	木崎　登	ライフル射撃
〃	山崎　義夫	山岳
〃	中村　芳男	ソフトボール
〃	山口　章	サイクリング
〃	鈴木　英雄	水泳
〃	白田　知子	バレーボール
〃	一宮　竜太	居合道
〃	鈴木　豪	サッカー
〃	鳥越　俊秀	バドミントン
〃	細野　利昭	乗馬
〃	卯月　学	アーチェリー
〃	渡辺　雅博	体操
〃	田中　弘一	フェンシング
〃	星　光男	バスケット
〃	正井　邦樹	合気道
〃	中島　功	少林寺拳法
〃	小町谷　江身子	なぎなた
〃	松浦　清	テニス
〃	菅野　典彦	ボウリング
〃	伊東　高雄	ダンススポーツ
〃	太田　晃市	ミニテニス
〃	早川　明	武術太極拳
〃	小澤　賢	トライアスロン
〃	鎮西　春男	ゴルフ
〃	洲崎　志乃	アマチュアボクシングスポーツ少年団
〃	加藤　謙一	

令和2年度スポーツ協会主行事日程（予定）

5月10日	第73回都民体育大会　中止
5月17日	2020健康フェスタ・食育フェスタ中止
5月29日	八王子市スポーツ協会定期総会
9月6日	第74回八王子市民スポーツ大会総合開会式
9月12日	第53回東京都市町村総合体育大会　1年延期
10月3日	第37回ふれあい運動会役員協力
令和3年	
1月20日	八王子市スポーツ協会新年会
2月	第71回全関東夢街道駅伝競走大会　協力

※その他
八王子市スポーツ協会事業
ジュニア育成地域推進事業
シニアスポーツ振興事業を
実施する予定

スポーツ協会日誌

（令和元年4月～令和2年3月）

4月

9日　健康づくり推進協議会　代表委員会
10日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
16日　市町村連合会　常任委員会
18日　スポーツ協会　監査会
23日　スポーツ協会　理事会
23日　市町村連合会　第一回理事会
23日　健康フェスタ　実行委員会
29日　北野多目的広場　総会

5月

3日　第72回都民大会
第20回障害者スポーツ大会
合同開会式
8日　市町村連合会　理事会
8日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
19日　健康フェスタ・食育フェスタ実施
21日　市町村連合会評議員会
22日　スポーツ協会　理事会
26日　八王子市スポーツ協会
総会・改称祝賀会
30日　第36回ふれあい運動会　実行委員会
30日　市民スポーツ大会打ち合わせ

6月

7日　都体協　第一回加盟団体　代表者会議
12日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
22日　都民大会　春季大会閉会式
25日　スポーツ協会　理事会
26日　ふれあい運動会実行委員会
26日　八王子夢駅伝　小委員会
28日　八王子市スポーツ推進審議会　委嘱式

7月

8日　八王子夢駅伝大会　運営委員会
8日　市民スポーツ大会打ち合わせ
9日　東京都市町村体育協会連合
スポーツ関係者交流会前夜祭
10日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
13日　市町村総合体育大会開会式
19日　八王子夢街道駅伝競争大会
第二回実行委員会
23日　スポーツ協会　理事会
26日　健康づくり推進協議会　運営委員会
30日　ふれあい運動会実行委員会

8月

7日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
10日　都体協　第一回加盟団体　代表者会議
11日　市町村大会　閉会式
13日　ＩＦＳＣクライミング世界選手権
２０１９八王子
17日　福島・八王子少年野球交流大会
23日　ふれあい運動会実行委員会
27日　スポーツ協会　理事会
31日　八王子市民スポーツ大会総合開会式
前日準備

9月

1日　八王子市民スポーツ大会総合開会式
11日　ふれあい運動会実行委員会
11日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
13日　八王子市長表敬訪問
市町村大会総合優勝13連覇報告
14日　市町村総合体育大会13連覇　祝賀会
20日　第二回八王子市立中学校の
部活動のあり方に関する検討会

10月

5日　第36回ふれあい運動会
9日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
21日　ふれあい運動会実行委員会
21日　健康づくり推進協議会
運営委員会
22日　スポーツ協会　理事会
23日　ふれあい運動会実行委員会
24日　スポーツ協会　理事会
25日　八王子市スポーツ推進審議会
29日　岡部事務局長退任送別会

11月

9日　スポーツ協会事業　黒須　隆一氏　講演会
11日　全関東八王子夢街道駅伝競走大会
第一回打合せ
13日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
14日　第二回八王子市立中学校の
部活動のあり方に関する検討会
26日　スポーツ協会　理事会
30日　東大和市体育協会
創立五十周年記念式典祝賀会

12月

5日　市町村体育協会連合会　理事会、交流会
10日　全関東八王子夢街道駅伝競走大会
第二回打合せ
11日　スポーツ協会　運営委員会・理事会
14日　第三回八王子市立中学校の
部活動のあり方に関する検討会
17日　スポーツ協会　理事会・忘年会
19日　スポーツ推進審議会
20日　市町村総合体育大会会長
スポーツ主管課長合同会議

1月

8日　スポーツ協会
運営委員会・理事会
14日　都体協　幹部中央研修会
15日　スポーツ協会　新年会
16日　健康フェスタ　実行委員会
22日　市町村大会第一ブロック打合せ
24日　都体協　ジュニア・シニア事業
説明会
28日　スポーツ協会　理事会

2月

5日　都体協　ＯＢ会
9日　全関東八王子夢街道駅伝競走大会
12日　スポーツ協会
運営委員会・理事会中止
17日　健康フェスタ　実行委員会
23日　八王子市レクリエーション協会
新年会
25日　スポーツ協会　理事会
28日　市町村体育協会連合会第４回
理事会

3月

11日　スポーツ協会
運営委員会・理事会中止
24日　スポーツ協会　理事会

理事会　毎月第二水曜、第四火曜に実施
運営委員会　毎月第二水曜に実施
二月度、三月度の運営委員会及び運営
委員会後の理事会は新型コロナウィルス
対策のため中止しました。

第52回東京都市町村総合体育大会開会式

令和元年7月13日土曜日に国分寺市立いずみホールにおいて、26市3町1村4987名の選手が参加する大会の開会式が挙行された。

今回は第4ブロックの国分寺市を中心に、府中市、調布市、武蔵野市、狛江市、多摩市、小金井市の7市で開催した。

八王子市は(敬称略)は、澤本会長、以下10名、そして、行政からはスポーツ振興課の清水課長、青木主査が参加した。

開会式は、10時30分の開式通告で始まり、八王子市のプラカードを持つ藤川さんを先頭に団旗を長谷川理事が掲げて入場行進を行い、国分寺市までの30市町村が続いた。会場の都合か、会場前列から入場行進となった。

国分寺市体育協会会長の吉川会長が大会開会宣言を行い、大会旗が前年度開催市の東大和市から国分寺市へ引き継がれた。

優勝杯の返還では、前年度総合優勝の八王子市、2位の府中市、3位の立川市へ、それぞれレプリカの贈呈があった。

小島大会会長のご挨拶、東京都オリンピック・パラリンピックのスポーツ担当理事である長沢氏のご挨拶、幹事市の井沢国分寺市長、市長会会長の清水立川市長、市議会議長会会長の小金井市の五十嵐議長挨拶、町村長会長の河村奥多摩町長、衆議院議員の松本議員、町村議会議長会の師岡会長のご挨拶に続き、来賓の紹介ではブロック内の衆議院議員や都議会議員、国分寺市議会議員、教育委員などの紹介があった。主催者紹介では、連合会の副会長である澤本会長の紹介があった。開会式は11時45分に閉式した。

選手宣誓では、地元、国分寺市の剣道男子選手が選手宣誓を行った。その後、東京都市町村連合会功労者表彰へと続く。4名の特別表彰、29名の功労者が受賞し本市の卓球連盟会長の白柳和義氏が功労賞を受賞された。おめでとうございます。男女合わせて14競技22種目で熱戦が繰り広げられる。

閉会式は8月10日(土)に開会式と同じ会場で10時30分開催。澤本会長、以下4名が参加し、スポーツ協会を代表して表彰を受けてきた。

表彰に始まり、東京都市町村体育協会連合会の小島会長、幹事市長の第4ブロック代表、国分寺市長の井澤市長、来賓の国分寺市市議会皆川議長、次期幹事市の第5ブロック代表、西東京市副市長の池澤副市長の挨拶が続き大会閉会宣言では国分寺市体育協会会長の吉川会長の閉会宣言で終了した。

男子競技では、バレーボールが7連覇、ゲートボールの男子2競技が優勝。空手道、バドミントンが準優勝、女子競技では優勝の競技はありませんでしたが、ソフトボールが第3位でポイントをとるなど各競技が得点を積み重ね、男子総合二位、女子総合三位で、男女合わせた総合では二位となり、総合で13年連続優勝を飾ることができました。

猛暑の中、各競技団体の皆様たいへんお疲れ様でした。そして、スポーツ協会の他団体の皆様、ご支援ご協力誠にありがとうございました。

他市町村の追随を許さないためにも力を結集して連覇を成し遂げることが、本市のスポーツ振興のリーダーとしての役割と考えますので、ご協力をお願い申し上げます。

第52回大会(令和元年)成績表

競技名	男子	女子	競技名	男子	女子
陸上競技	3位	4位	空手道	準優勝	ー
卓球	5位	5位	軟式野球	予選	ー
ソフトテニス	予選	5位	弓道	予選	ー
バレーボール	優勝	予選	ゲートボール	優勝	ー
バドミントン	準優勝	予選	ダンススポーツ	5位	ー
水泳	4位	4位	ソフトボール	予選	3位
剣道	予選	5位	総合成績	優勝	3位
柔道	3位	ー			

第52回東京都市町村総合体育大会13連覇祝賀会

13連覇を記念し、祝賀会が9月14日(土)に八王子エルシィにおいて開催されました。高橋専務理事の司会により、立川副会長の開会挨拶に続き、澤本会長の挨拶では、今大会が二位の府中市とわずか、4点差の僅差であったことが報告されたほか、来年の大会への強化を望む話がありました。

来賓祝辞では、石森市長、萩生田顧問のご挨拶、浜中市議会議長、小島市町村体育協会連合会長、塩澤レクリエーション会長のご挨拶と続いた。黒須顧問からは、14連覇へ向けた激励のメッセージが届けられ、八王子市スポーツ協会が連覇へ向けて強い意志を持つことが必要と感じた。乾杯の発声は安間教育長が行い歓談となった。各団体には壇上にて14連覇に向けて決意表明を行っていただきました。

14競技22種目の団体はもとより、他の団体やご支援をいただいている皆さんのパワーにより、14連覇を誓い、鈴木副会長の閉会の挨拶により祝賀会はお開きとなりました。

総会及び改称祝賀会

令和元年度NPO法人八王子市スポーツ協会総会が5月26日八王子エルシィにて行われた。植松副会長の司会により進行され、鈴木副会長の開会宣言によりスタートした。澤本会長の挨拶、石森市長、萩生田衆議院議員の挨拶と続き、本日の総会は正会員37名中33名の出席にて総会は成立している事が伝えられ審議が始まった。

議長に体育連盟橋本会長、書記に長谷川理事、吉野理事。議事録署名人にミニテニス協会植松会長、武術太極拳連盟伊藤会長が選出された。

第1号議案　平成30年度事業報告

第2号議案　平成30年度会計収支報告がなされ、承認された。

次に第3号議案令和元年度事業計画と第4号議案令和元年度収支予算書の説明がなされ承認された。4件の議案が承認され議長及び書記の解任。立川副会長から閉会の挨拶があり、終了した。

続いて会場を移し改称祝賀会となった。東京都の承認が下り、法務局登記が今年の5月10日に終了し名称を体育協会からNPO法人八王子市スポーツ協会に改称した。これに従い所属する37団体の団旗をスポーツ協会より改めて貸与することになり改称祝賀会にて各団に手渡された。

来賓として浜中市議会議長、東村都議会議員、関都体協専務、小島市町村連合会長が加わり参加者198名の盛大な祝賀会になった。澤本会長より各団の代表者が壇上に上がり団旗の贈呈式が行われた。安間教育長の乾杯の発声で乾杯。食事会を約一時間、なごやかな時間を過ごした。最後は植松副会長の発声で万歳三唱をして閉会となった。

第72回都民体育大会・第20回東京都障害者スポーツ大会合同開会式

令和の祝賀行事やお祝いのイベントが全国各地で行われている10連休の令和元年5月3日（金）標記開会式が武蔵野の森総合スポーツプラザで開催され、八王子市から70名の選手団が参加した。午前10時から総合司会の元新体操日本代表の畠山愛理さんと元ラグビー日本代表の今泉清さんの進行で開式通告とともに東京消防庁音楽隊の演奏に乗り本市から25名が入場行進を行った。次に主催者挨拶では小池都知事からラグビーWorld Cup、2020オリパラを成功するよう盛り上げよう！週1回以上のスポーツ実施率の向上！と訴えた。その後多くの来賓を紹介し代表で尾崎都議会議長の祝辞があった。

続いて優勝杯返還、選手宣誓があり第一部が終了した。

そして都協会表彰とラジオ体操のあと第2部・交歓プログラムでは、今泉さんと車いすラグビー日本代表の官野一彦さんから基本的な知識や魅力・観戦の楽しみ方を都知事と学ぶとともにデモンストレーションや会場全員でパス回しを行い会場を盛り上げた。

第73回八王子市民スポーツ大会総合開会式

令和元年9月1日、令和になって初めての市民スポーツ大会開会式が富士森体育館、室内競技場で行われた。司会は高橋専務理事が行った。現在、NPO法人八王子市スポーツ協会には37団体が登録されている。本日の開会式には各団体を代表して、1186名が参加している。開会式はファンファーレ高々な合図とともに、各団体の紹介が行われた。参加した37団体の最前列にはガールスカウトの皆さんがプラカードを掲げている。紹介された団体は全員が起立し、会場からは大きな拍手でたたえていた。閉会式通告は鈴木副会長が行った。そして全員が国旗に向かって起立し、演奏に合わせて国歌斉唱が行われた。

主催者の挨拶を石森八王子市長、澤本会長、萩生田衆議院議員、黒須顧問が行った。続いて来賓より浜中賢司八王子市議会議長、そして都議団を代表して清水秀子都議から祝辞を頂いた。その後八王子市議会議長以下市議団23名の紹介が行われた。

次に各種表彰が行われた。すでに表彰されている東京都スポーツ協会受賞の方、市町村体育協会連合会表彰をされた方また、団体が紹介された。続いて澤本会長より栄誉賞、スポーツ褒賞、功労賞が贈られた。次にスポーツ協会役員として永きにわたり尽力された皆さんに金賞、銀賞、銅賞の各賞が贈られた。そして加盟団体役員として一年以上活躍された皆さんに感謝状が贈られた。

アトラクションは、本日の開会式に力強い演奏で盛り上げて頂いた八王子市消防団音楽隊の皆さんによるオリジナル曲をそして、ご存知の「太陽おどり」の演奏が行われた。迫力ある生演奏に大きな拍手が送られていた。最後に植松副会長が閉式通告を行い終了した。

令和元年度東京都スポーツ功労賞表彰

表彰式は令和元年11月4日に都議会議事堂二階の都民ホールにて行われた。

①個人　協会加盟の地域別体育団体（区市町村体育協会等）並びに競技団体・種目団体においてスポーツ振興に尽力し、功績顕著な者

表彰者
スポーツ協会
長谷川 仁　理事
（アーチェリー協会副理事長）

②団体　加盟団体で組織的にスポーツ活動を実施しており、その活動が組織内活動にとどまらず、広く地域のスポーツ振興に寄与しているもの。

表彰団体
八王子市
アーチェリー協会

第14回 日本スポーツグランプリ受賞

長年にわたりスポーツを実践し、現在も継続して活動され、当該スポーツにおいて、中高年齢層の顕著な記録や実績を挙げるなど、国内外で高い評価を得た方に対して、その功績を讃え表彰されました。

竹松　健（たけまつ　けん）
90歳（男性）東京都 活動歴:79年
剣道、居合抜刀道、居合道、銃剣術および短剣道

10歳から剣道を始め、居合抜刀道、居合道、銃剣術および短剣道長年にわたり取り組んできた。特に剣道については、シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO・剣道大会にて優勝を計11回、2011年の第16回大会から80歳以上の部において5連覇を達成している。現在も、週4日練習を実施しながら、少年少女への指導を行う姿勢は、称賛に値する。

2019全日本ジュニア体操競技選手権大会

八王子市体操連盟の須永光輝くん（八王子体操クラブ所属）が、2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 男子2部で優勝しました。さらに、2019Voronin Cupでも3位に入りました。

個人総合	優勝
ゆ　か	3位
あん馬	優勝
つり輪	優勝
跳　馬	9位
平行棒	4位
鉄　棒	優勝

男子2部 優勝！

ジュニア育成地域推進事業

平成31年度のジュニア育成地域推進事業は13団体16事業で実施された。

参加者は小・中・高校生を併せて1781名、延べ参加人数は3534名で展開された。ジュニア事業の方針は有望選手の発掘と強化育成を目的とする方針に変更して3年、半数以上の団体で国際経験豊かな外部指導者やプロ指導者を招聘し選手育成に当たるようになった。

また、事業期間後半には参加者の競技意欲の向上を図るべく3団体が大会を追加開催する中、時節柄新型コロナウィルスの影響を受け、2回目の教室を中止せざるを得なかった団体もあった。

一方、嬉しいこととしては、今学校で問題の不登校や精神障害を抱えた子がスポーツを通じて学校に戻り、スポーツが心の支えとなっているという話が舞い込んできた。うれしいかぎりである。

シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、健康維持・増進に寄与することを目的に設置されたシニアスポーツ振興事業は今年で8年目を迎えた。平成31年度は追加事業2事業を加え12団体14事業での展開。各事業、団体の努力もあり、徐々に浸透しはじめたようで参加人数も増えてきている。今年度は1034名（延1549名）の参加があった。

新年度は12団体を予定。健康維持・増進のためにも、この事業がより定着、浸透しより多くのシニア世代が参加し、明るく、楽しく活躍できることを期待したい。

令和元年度　NPO法人八王子市スポーツ協会事業
黒須 隆一氏　講演会

恒例のスポーツ協会事業、令和元年度は「前を向いて生きるということ」をテーマにスポーツ協会顧問・前八王子市長の黒須隆一氏にご講演いただきました。

講演に先立ち澤本会長より、ご自身が病を得たとき、苦しい治療に立ち向かう背中を押してくれたのが黒須氏の言葉でした。それを協会の皆様にも聞いていただきたいと企画しましたとの挨拶で講演会が始まりました。

黒須氏は、人生には失敗することもある。その度になぜ失敗したのか反省し、覚悟し直して、目標を持って前に進むことがいかに大切なことなのかを、常に前を向き、覚悟を積み重ね、熱く生きてこられたご自身の人生を通して語られ、最後に年齢を重ねてカッコ良い高齢者になろうと締めくくられました。

来場者は会場定員の１５０名強。公演時間は１時間30分でした。

5月19日「健康フェスタ・食育フェスタ」開催協力

毎年5月の第3日曜日は、『市民健康の日』です。これにあわせ、「2019健康フェスタ・食育フェスタ」が、『誰でもできる健康づくり～始めよう！健康貯金～』をテーマに、エスフォルタアリーナ八王子で開催されました。

開会式には、第一中学校吹奏楽部の演奏が、花を添えました。

メインアリーナでは各種団体が提供する健康づくりや食育を学ぶブースがずらり、また、ステージでは「健康体操」、「ダブルダッジオンステージ」などが披露されました。このほかサブアリーナではニュースポーツ体験や親子体操教室・成人向け姿勢改善教室などが行われ、多数の来場者で一日にぎわいました。

八王子市スポーツ協会からは、役員を中心に11名が協力参加し、各団体のブースへの協力を行いました。

第70回全関東八王子夢街道駅伝競走大会

令和2年2月9日(日)晴天の中、スーパーアルプス「第70回全関東八王子夢街道駅伝大会」(大会実行委員会主催、毎日新聞社、公益財団法人東京陸上競技協会後援、メインスポンサー株式会社スーパーアルプス)が開催された。参加は8部門５０６チームが午前9時にＪＲ八王子駅北口マルベリーブリッジ前をスタートしゴールの都立南多摩中等教育学校を目指し覇を競った。

ここ散田架道橋の往路、復路の中継点ではアンダーパスの最上部がタスキの受け渡し場所の為、疲れてから最後の頑張り所で、チームの声援も多く、坂を上がってくる走者に大いに力を与えていた。

また今回の駅伝も、全日本大学女子駅伝、全国高等学校駅伝競走大会男女、箱根駅伝のチームを招待し大会に花を添えた。

結果は完走４６９チームであった。記録は?

スポーツ協会からは２０２名が協力し大会を盛り上げた。

競技成績　1位チーム	
1部	島根オレゴンプロジェクト
2部	中央大学A
3部	国学院久我山高校
4部	八王子市立中山中学校
5部	青春ランナーズA
6部	拓殖大学女子陸上部
7部	錦城学園高等学校A
8部	南多摩中等教育学校

連盟だより

八王子ソフトボール連盟
ソフトボールは楽しいよ。皆さんやってみよう

昭和38年3月、八王子野球連盟のソフトボール部は、「八王子ソフトボール連盟」として分離。自立の道を目指し発足し今年58年目となります。

野球連盟の力を借りながら、当市での関東大会や都大会を重ねる中、昭和52年の第2回全日本ママさんソフトボール大会(後楽園球場)に東京都代表で出場した八王子女子「マミローズ」が見事優勝。八王子ソフトの名を全国に轟かせました。

参加チームのピーク時は、バブル崩壊前70チームに及ぶ参加がありましたが、当時は8割近くが企業・事業所チームでしたが、次々と撤退、現在はゼロです。現在地域のチームが主体です。こうした環境ではあっても、東京都代表で全国大会や関東大会に出場し数多くのチームが好成績をおさめています。

現在も、春季・秋季の年2回の大会は、男女別・年齢部門別大会で開催しております。競技スポーツとしては勿論、生涯スポーツとしての普及に力を注いでいます。

初出場の皆さんには、三部大会への参加を呼びかけています。エラーしても笑顔。終われば両チーム笑顔で握手。

市の大会以外にも、9月には、関東スーパーシニア大会(70歳以上)。11月に東京都一般男子大会を滝が原運動場で開催します。是非とも足を運んで観戦してください。

ソフトボールは楽しいよ。皆さんも八王子の大会に参加しましょう。

八王子フェンシング協会

当協会は昭和48年4月に創立され47年目を迎えました。会員数は50名で小学生から70代まで幅広い層の市民や本市在住の外国籍の選手などで構成された大変歴史のある団体となりました。

活動拠点はエスフォルタアリーナ八王子の多目的室で主に毎週日曜日に活動しています。小中学生の選手育成に力を入れ、共立女子第二高校の部活指導も行っております。

ジュニアの練習会場は市民センターで主に毎週木曜日に活動、10名が在籍しており、巣立った若人がさらに強豪大学のサークルで活躍しております。

当協会の大きな行事は、八王子大会で、関係者の協力を得て、毎年12月に開催しており、開催回数43回を数えます。各地からも毎年2百人以上の選手が参加して盛大に実施されており、昨年は12月1日エスフォルタアリーナ八王子で開催、当協会のジュニア選手2名が入賞を果たしております。

また全国大会や世界大会へも出場し、全国小学生大会、全日本ベテラン大会では上位入賞も果たしております。

いよいよ本年は東京で2度目のオリンピックが開かれる年、メダル獲得が大いに期待されますが、フェンシングは依然としてマイナースポーツで競技人口の増加に伸び悩んでおります。フェンシングは性別、年齢差を越えて対戦が可能な誰でも取り組めるスポーツで、生涯スポーツとして最適です。

当クラブにまだ在籍されておりませんが、車いすフェンシング競技では障害をお持ちの方も、剣を操る楽しさを分かち合えます。上部団体の日本フェンシング協会では競技人口5万人を目指し改革に取り組んでおり、当協会としても、広報活動等を通じて競技の普及に努力していきたいと考えております。

八王子ライフル射撃連盟

八王子ライフル射撃連盟は創立来、お陰様で40年。社会環境が一段と厳しい状況下、銃刀法の改正も厳しくなるばかりでありますが、八王子市スポーツ協会の一員として市民スポーツ大会、都民大会団体戦等活躍の場を持っております。

日本ライフル射撃協会、東京都ライフル射撃協会の下部組織として協会主催の競技会への参加、国民体育大会予選会などへの役員として参加、各種競技会への運営協力等活躍の場を広げております。

新たなライフル射撃競技の動きとして、弾丸でなくレーザー光線を用いてのデジタル銃での競技が広く小学生・中学生・高校生・一般人に普及しつつあります。これらのデジタル銃は公安委員会の許可は一切必要なく、また特に厳しい拳銃（ピストル）の所持にも関係なく、先にも記しましたように子供から大人の競技分け隔てなく容易に所持でき、標的射撃を楽しむことができるデジタルライフル射撃競技も東京都ライフル射撃協会主催、多摩地区ライフル射撃競技会主催で開催されております。弾丸はレーザーでありますので空気銃や装薬銃と異なり費用は一切かからず、射撃場も体育館内に設置した10mの射撃場で済みますので参加費用もワンコイン（500円）程度でリーズナブルであります。

経験してみたいと思う方は八王子射撃連盟事務局（042－636－3147）にお問合せ頂ければ詳しく説明いたします。

八王子市居合道連盟

八王子市居合道連盟は、1967年にJR中央線西八王子駅にほど近い誠館道場（現八王子剣道連盟道場）を中心に結成されました。1970年の八王子市体育協会（現八王子スポーツ協会）加盟以来、八王子市内における居合道拠点の中心的役割を担っています。

居合は、日本刀を鞘に納めた状態から瞬時に刀を抜き放つ攻撃防御の抜刀術ですが、その始祖は戦国時代から江戸時代前期にかけて存命した林崎甚助重信であるといわれています。

林崎甚助は自ら修行する傍ら、弟子の育成も行っており、弟子たちが後世に伝えた居合の技は、時代を重ねて日本各地に様々な流派となって広がりました。

八王子市居合道連盟では、現在、無外流、夢想神伝流の2流派が伝えられています。

無外流は江戸時代の辻月丹資茂を流祖とし、無外流剣術を伝承する自鏡流居合から、故中川士龍範士が「無外流居合兵道」として再編成したものです。その極意は「皆傳之巻」とともに高弟に授けられ、現在では当連盟会長である伊藤繁男が継承しています。

夢想神伝流は「昭和の剣聖」と讃えられた中山博道範士により確立され、現代居合道を代表する流派です。当連盟では、中山門下の故岡田守弘範士の流れを汲む技が伝えられています。

礼儀を重んじ、居合道を志す者同士の親睦・交流を深めること、年齢・性別等に応じた　稽古が無理なく続けられることは、健康で文化的な人間関係の形成や体力増進という面で、日常生活の質の向上と密接に関係しています。

八王子市居合道連盟では、正しい継承を念頭におきつつ、希望者には誰でも門戸を開放しています。少しでも興味のある方は、是非一度道場に足をお運びいただければと思います。

八王子水泳連盟

八王子市水泳連盟は、今年7月に創立72年を迎えます。

水泳連盟は連盟員が全員一丸となり、地域社会の水泳の発展と底辺の拡大のため、日々ボランティア活動を行っています。

活動状況は、八王子市スポーツ協会の一端として、『泳』の一角を担い続けることは大変難しい事業ではありますが、橋本洋一理事長以下、伊藤・稲葉・谷合・小岩各理事長を始め、統率している力量と功績は極めて大きいものと判断されます。

と言いますのも、近隣の町田市等々には、立派な屋内競泳プールを擁しているものの、八王子市にはこれがありません。この隘路をカバーすべく上記理事長以下はニッチ的思考にシフトし、五本柱のコア事業に今後の展望が垣間見られる伝統的手法を駆使し、「水泳の楽しみ、健康維持、泳法へのあこがれ：等々」を、その間の繋ぎとする方針として鋭意活力中であります。

因に、私の申しあげる五本柱とは　①大会　②水泳教室　③研修　④開放プール　⑤少年クラブであります。

今後、水泳連盟は施設環境の整備、責任体制の明確化、市民水泳大会の合理的・効率的運営の検討をガバナンスの観点からも考察し、全員危機感を持って頑張ってまいります。

今後とも引き続き温かいご支援とご協力をお願い申しあげます。

編集後記

令和の新時代とともに新たな一歩を踏み出したスポーツ協会も、1年の歩みを着実に進めてきました。

「新型コロナウィルス」まん延の最中にこの原稿を書いていますが、来る2020オリンピック・パラリンピックの際は、声援と笑顔があふれますよう祈っております。

令和2年5月26日現在

連絡先
〒193-0931
八王子市台町2-3-7
八王子市富士森体育館内
TEL:042-622-6101
FAX:042-622-6444
NPO法人 八王子市スポーツ協会
http://www.8spokyo.com